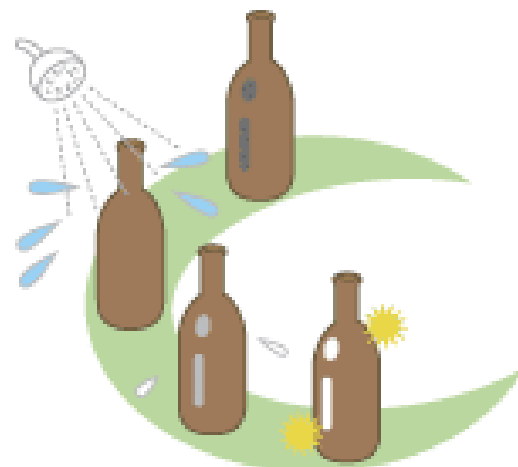


リユースびん普及に向けた取組

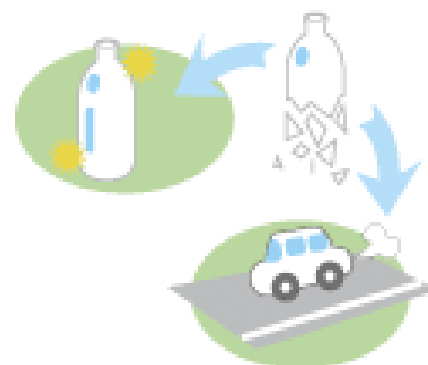
環境省九州地方環境事務所

びんのリユースとは？

- びんリユースとは、一度使用したびんを回収・洗浄し、再度利用することです。
- 日本には100年以上も昔から、一升びんやビールびん、牛乳びんに代表されびんがリユースされています。焼酎においてもびんは繰り返し利用されています。
- 回収されたびんは、洗浄・殺菌を経て再び中身が詰められ、くり返し使われますので、ごみにならず、原料や製造エネルギーの節約にもなるので、近年、環境面でのメリットが改めて見直されています。



くりかえし何度も使われるリターナブルびん




1回使ってリサイクルされるワンウェイびん

H15～16 リユースびん導入モデル事業

- 「南九州における900ml茶びんの統一リユースシステムモデル事業」を環境省の旧エコ・コミュニティ事業で採択（H15～H16年度）
 - 900mlRびん（五合びん）の設計
 - 大口酒造協業組合（当時）で採用
 - 鹿児島県4社、熊本県7社（酒造メーカー6社、醤油メーカー1社）に採用拡大
- その後約5年間変化なし



900mlRマークびん

マークが目印

H21～ 新たな普及への取組

背景事情(その1)

- 九州地域における焼酎900ml（五合）びん出荷量推計（H20九州経産局調査など）

びんの酒類	ワンウェイびん出荷量	Rびん出荷量
900mlびん（五合びん）	約7,200万本	約200万本
うちリユースされたもの （Rびん回収率30%と仮定）	数十万本	50～60万本

- 出荷量の大半は1回の使用で廃棄→カレット化
- 絶対重量が大きいガラスびんのワンウェイ使用は環境負荷が大きい
- ガラスびんの成形には1,600度まで加熱する必要有
- 一方、洗浄ならば70～80度のお湯でOK

背景事情(その2)

- 五合びんは、丸正びんが一部リユースされているが、ワンウェイで廃棄されているものも多い
- 五合びんは8割以上が居酒屋等の業務用
- 一升びんの出荷量は減少傾向、五合びんは横ばい
- 卸・小売店はワンウェイ、リターナブルの区別無く居酒屋等から空びんを回収・処理

～市場への出荷量が多く、回収ルートが既に確立しているにもかかわらずワンウェイなのは環境にも優しくないし、もったいない！

環境省九州地方環境事務所 経済産業省九州経済産業局 の合同事業として取組

3Rの推進

環境省
(九州地方環境事務所)

経済産業省
(九州経済産業局)

平成20年3月
国は第2次循環基本計画を策定
「地域循環圏の構築」を推進

平成20年度:
焼酎リユースびんについての調査

平成21年度～
焼酎リユースびんについて、合同で普及拡大事業を開始

具体的な取組

- 一升びんを含め、環境負荷低減に資するびんリユースの取組みは全般的に普及拡大を目指す（びん種にこだわるものではなく、丸正、Rマーク、その他いずれも）
- その中でも、鹿児島県の本格焼酎の特徴でもある900mlびんへのリユースシステムの普及拡大を中心に（一升びん、720mlについても検討）
- 関係者間での情報共有のための「焼酎リユースびん推進会議」の開催
- 「リユース」の一般消費者への普及啓発
- リユースシステム導入に対する支援

基本的な考え方(その1)

- 現状実施されている900ml（五合）のリユースの取組を活かして拡大を図る

- ✓ Rマークびんで蓄積された、回収率・回収ルートなど、5年間の取組実績を参考にできる

～びんの不良率は極めて低く、県内からの回収率は高い

- ✓ 消費者の反応について参考にできる

～びんのキズ等についてのクレームは増えていない

- ✓ 導入・運用等に係るコストについて参考にできる

～自社で洗浄する場合は容器調達コストの低減につながる可能性有

基本的な考え方(その2)

- びんのリユース化を推進するものであり、紙パックをびんに置き換えるものではない

リユースびん

比較的狭い範囲で循環させて輸送に係る
負荷の割合を抑えた方が有利

紙パック

大部分がバイオマスであり、かつ軽量

環境負荷の観点
ではそれぞれに
メリット

- まずは仕組みを作りやすいところから

(例1)業務用のびん

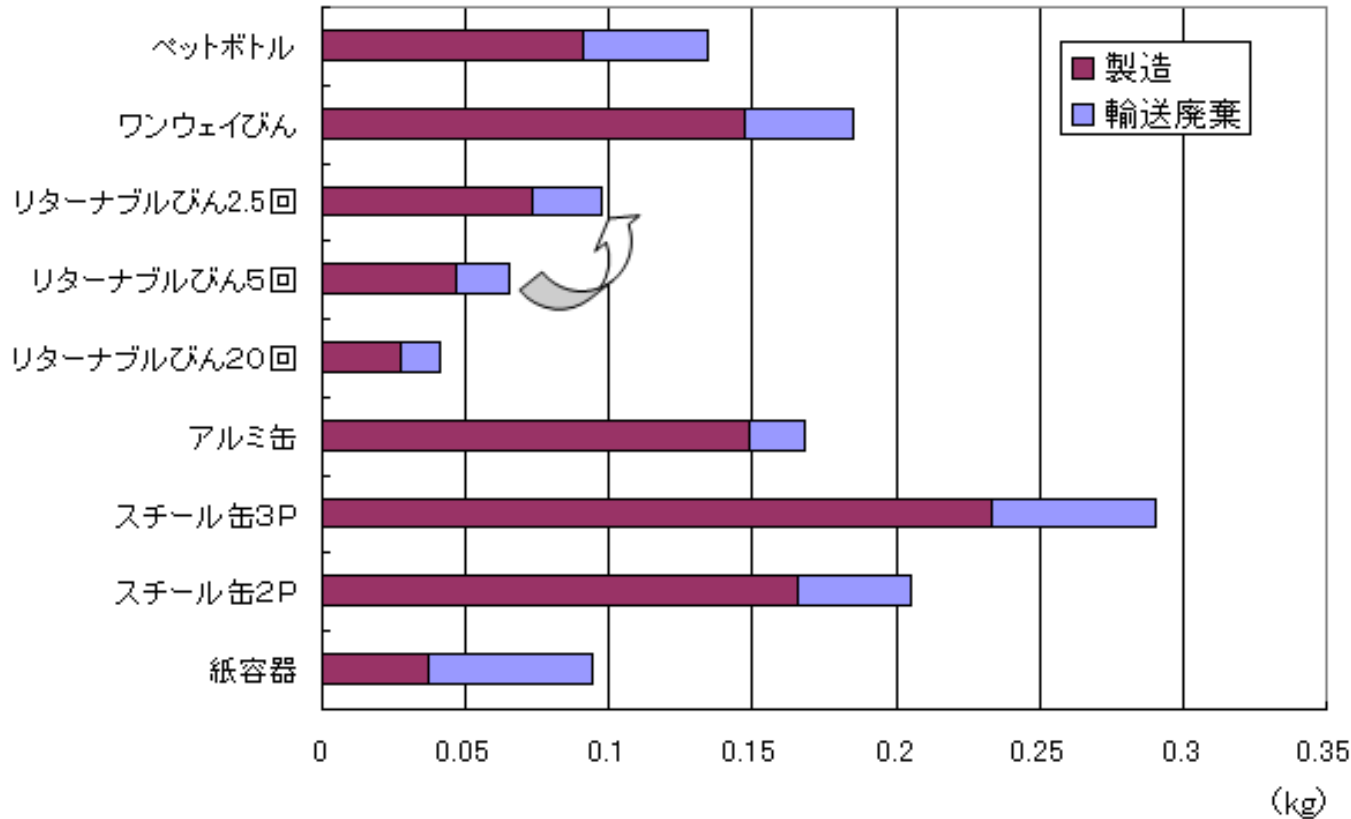
- 商品納入の帰りに空きびんを回収
- 高い回収率が実証

(例2)九州内の出荷 割合の多い銘柄

- 比較的高い回収率が見込める
- 環境効率性が高まる

CO₂排出量の容器間比較

- リターナブルびんの繰り返し利用回数が多くなるほど、1回使用あたりの環境負荷は低減する。



出典)「LCA手法による容器間比較報告書<改訂版>」(2001年8月)

容器間比較研究会(ガラスびんリサイクル促進協議会)

ガラスびんリサイクル促進協議会 リターナブルびんナビ(URL:<http://www.returnable-navi.com/>)

基本的な考え方(その3)

- 中容量びんのリユースの取組が広がることで、
「九州の焼酎は中身はおいしいし、
ボトルもエコ」
- 消費者の消費行動にエコの観点
- 鹿児島から始めて、九州全域への拡大を目指す。

